

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3144701号
(U3144701)

(45) 発行日 平成20年9月11日 (2008. 9. 11)

(24) 登録日 平成20年8月20日 (2008. 8. 20)

(51) Int. Cl.

E O 4 B 1/20 (2006. 01)

F 1

E O 4 B 1/20

F

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願2008-4725 (U2008-4725)
(22) 出願日 平成20年6月12日 (2008. 6. 12)(73) 実用新案権者 508179039
竹内 靖浩
秋田県大仙市高梨字田茂木 6 5
(73) 実用新案権者 508179051
高橋 浄二
秋田県大仙市神宮寺字大浦 1 8-4
(73) 実用新案権者 508179350
萩原 静夫
秋田県横手市金沢中野字長持 1 7 8
(72) 考案者 竹内 靖浩
秋田県大仙市高梨字田茂木 6 5
(72) 考案者 高橋 浄二
秋田県大仙市神宮寺字大浦 1 8-4
(72) 考案者 萩原 静夫
秋田県横手市金沢中野字長持 1 7 8

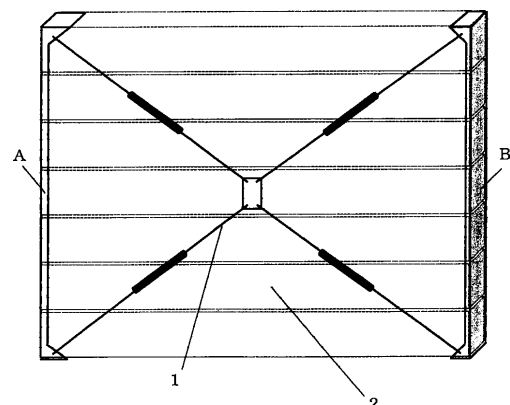
(54) 【考案の名称】 パネル形成フレーム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 木造建築物の壁面構造に用いられる木質無垢板材の落とし込み板壁に関し、建築現場で建物の軸組内空間にはめ込むだけで容易に落とし込み板壁が施工できるパネル形成フレームを提供する。

【解決手段】 左右一対の縦枠 A、B 及び長さ調節が可能な交差筋交い 1 を有するパネル形成フレームにおいて、左右一対の該縦枠 A、B は、それぞれの内側面全長に板材嵌入部の開口溝を設け、さらにそれぞれの枠の上端および下端に略 L 字形状のコーナーを内向き合うよう突出して設け、さらに左右一対の該縦枠 A、B 間に長さ調節が可能な該交差筋交い 1 を取り付け連結して一体に成すことを特徴としたことで、落とし込み板壁状に平行に並べた木質無垢板材 2 を左右一対の該縦枠 A、B 間に嵌め込み、且つ、長さ調節が可能な該交差筋交い 1 で締め付けて固定するだけで容易に落とし込み板壁パネルを製作できるようにした。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

左右一対の縦枠 A、B 及び長さ調節が可能な交差筋交いを有するパネル形成フレームにおいて、左右一対の該縦枠 A、B は、それぞれの内側面全長に板材嵌入部の開口溝を設け、さらにそれぞれの枠の上端および下端に略 L 字形状のコーナーを内向き合うよう突出して設け、さらに左右一対の該縦枠 A、B 間に長さ調節が可能な該交差筋交いを取り付け連結して一体に成すことを特徴とするパネル形成フレーム。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、木造建築物の壁面構造に用いられる木質無垢板材の落とし込み板壁に関する。

【背景技術】

【0002】

従来より、木造建築物の壁面構造に用いられる木質無垢板材の落とし込み板壁に関する様々な提案がなされている。例えば、特許文献 1 では、壁面構造に関して耐力壁としての壁倍率が格段に高くなるため耐震性がよく、施工が容易で大幅な工期短縮が可能な二重落とし込み板パネル構法による木造耐力壁とその固定方法が提案されている。

【特許文献 1】特許第 3834662 号広報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

しかしながら、上述の方法は、たしかに壁倍率が高くなり耐震性が向上するものの、二重落とし込み板パネルの製作などを考えると、さほど工期の短縮が図れないといった問題点を有していた。

【0004】

本考案は、上記従来有する問題点に鑑み、木造建築物の壁面構造に用いられる木質無垢板材の落とし込み板壁に関し、建築現場で建物の軸組内空間にはめ込むだけで容易に落とし込み板壁が施工できるパネル形成フレームを提供しようとするものである。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本考案のパネル形成フレームは、左右一対の縦枠 A、B 及び長さ調節が可能な交差筋交い 1 を有するパネル形成フレームにおいて、左右一対の該縦枠 A、B は、それぞれの内側面全長に板材嵌入部の開口溝を設け、さらにそれぞれの枠の上端および下端に略 L 字形状のコーナーを内向き合うよう突出して設け、さらに左右一対の該縦枠 A、B 間に長さ調節が可能な該交差筋交い 1 を取り付け連結して一体に成すことを特徴としたことで、落とし込み板壁状に平行に並べた木質無垢板材 2 を左右一対の該縦枠 A、B 間に嵌め込み、且つ、長さ調節が可能な該交差筋交い 1 で締め付けて固定するだけで容易に落とし込み板壁パネルを製作できるようにした。

【考案の効果】

【0006】

本考案によれば、落とし込み板壁状の木質無垢板材とパネル形成フレームの組合せが高い壁倍率を実現すると共に、これらを一体化したパネル構造により、現場での高度な技術や複雑な作業を必要としない取り付け施工が期待できる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0007】

以下、本考案の実施の形態について、図面を参照して説明する。

図 1 に示すように、パネル形成フレームは、左右一対の縦枠 A、B 及び長さ調節が可能な交差筋交い 1 を有するパネル形成フレームにおいて、左右一対の該縦枠 A、B は、それぞれの内側面全長に板材嵌入部の開口溝を設け、さらにそれぞれの枠の上端および下端に略 L 字形状のコーナーを内向き合うよう突出して設け、さらに左右一対の該縦枠 A、B 間

10

20

30

40

50

に長さ調節が可能な該交差筋交い 1 を取り付け連結して一体に成すことを特徴としたことで、落とし込み板壁状に平行に並べた木質無垢板材 2 を左右一对の該縦枠 A、B 間に嵌め込み、且つ、長さ調節が可能な該交差筋交い 1 で締め付けて固定するだけで容易に落とし込み板壁パネルを製作できるようにした。

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図 1】 本考案に於けるパネル形成フレームの使用例の斜視図である。

【図 2】 本考案に於けるパネル形成フレームの斜視図である。

【図 3】 本考案に於けるパネル形成フレームの平面図である。

【図 4】 本考案に於けるパネル形成フレームの左側面図である。

【符号の説明】

【0009】

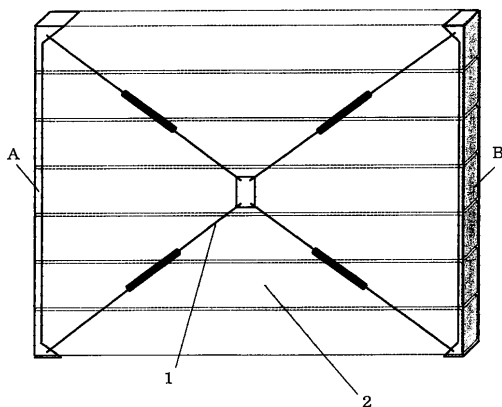
A、B 縦枠

1 交差筋交い

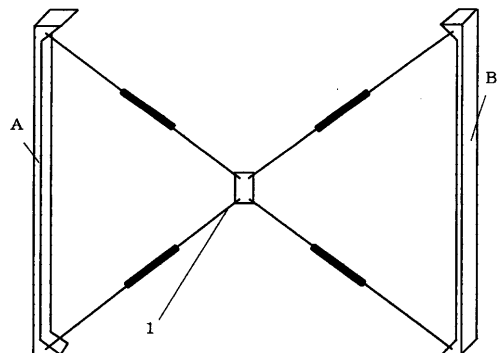
2 木質無垢板材

10

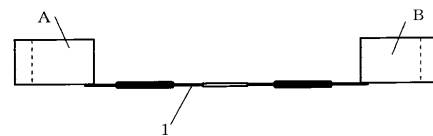
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

